磐城新聞

四月十一日發行

定價 一ヶ月金五十錢　廣告料金

發行所 磐城新聞社

(日曜祭日翌日休刊)

東京振替一〇・六五八五番

泣き濡れた少年の日

磐中貼り出しの感想

赤井嶽男

必ずしも中學を出ねば偉い人になれぬと云ふ譯はないから決して落膽するには當らない」と云ふ意味を、言葉靜かに諄々と說き聽かして口調美しい上品な老教員[illegible]に肩を顫はせ乍ら悦に泣く可憐な少年の姿を[illegible]指して貰す。[illegible]磐中入學者の氏名を貼り[illegible]人々かかし起る前代での蛙の様な醜々し[illegible]作り、乍ら微かな遊ぶ少年時代に馳らせて今日はこつきとして居る悲しし其の時の光景が眼前に廻らせてのます。

經部に泣き濡れた少年はその時の自分であり、[illegible]泣き出し度く思ひ[illegible]分の背を撫でて[illegible]に宿が則して與えたのが、何年かの手抜ふに與の世を去つた[illegible]磐中教諭松原太郎その人であつた。

×

湯長谷の一民家を借りた當時の磐崎湯本組合村立高等小學校を出た自分は、しかし少年の向學心から家の力などにたよ介意無しに一途に磐中の入學試驗を受けたのであつたが、視力の極度に不完全な自分は、ただ僅かに檢眼表の前に立たされ丈けで問題にならず、其の儘試驗室に入る途も無く隔離の受驗を打ち切られて二里の途を悄々湯本へ歸らねばならなかつたが其の時は尙ほ一人の落伍相手があつたので勿論落膽はしたものの未だ左程深刻なものではなかつた。

×

絕對駄目と諦めて再た來ん事を期つ泣き無く斷念し居る處へ何かの機會に其の工作宜しき[illegible]と云ふ[illegible]來た時は聽き込んだ自分は[illegible]當時校醫の醫師を訪れて前途の事に就き[illegible]を惱ました[illegible]兎も角向學心の已み難きを訴へて體格檢査にパスさせて貰ふべく既にお願ひしておつたが、會つて與へた代診か書生から

「まあ見ませうか」

なんでボールドへの視力を驗めさせた上、眼の方は「〇」さんの係りだからと云つて相手にさせなかつた。

×

そこでは〇醫師御當人から自分を暗室へ伴ひ込み、プリヅムを檢眼に試へたりして色々檢べて與えたが、不安で困つた自分が、翌日診驗場へ行くと今度は習字一枚を書いたすぎて前回同様の結果になつたに反し前年の落伍相手も幾の見事に入學を許されたのであつた。赤貧洗ふが如き家の自分な[illegible]他家を訪れる儀禮の苞苴を調へなかつたのは云ふ迄もない。磐中へ入るのは爾く難かしい。いま高月學園に通つて居る自分の二兒はまた幸福と云ふ得るであらう

曇天

谷口正三

○枯葉のはてしなく舗道かか[illegible]街市かゆくゆる下[illegible]

曇天に

○戀ほしみてひとり踏み入りしあ[illegible]扉[illegible]を押てきた風の音

○現となく我が踏みてゐしあし原もとこに暗けて煙突が見ゆ

欽慕千水戶尊王家偉人前田東湖先生賦

平市開花亭內
東京　藤田　陽山

忠誠學敬于皇室
夙慨式微唱尊王
連步邸下多[illegible]
透讒金石千秋香
大展京伏暗雲散
天日再同輝八紘
復了淵源道是
日本鴻之大文章
三月廿日水戶上市作

4月12日

△武田信玄卒す(天正元)△秀吉の和蘭甲必丹名古屋を出船す(文祿元)△南北朝の皇(一、八六一)△山西の皇軍遼縣を占領(昭和一三)

俳壇

その日

○

春眠に蛇のひゞきの耳に來る　風骨

恩讐無道 (72)

久我荘多郎
香川三十代畫

—地の卷—

邏卒第一歩(五)

茅江は、生返つた想ひだつた。

まつたく、自分たち親子は、一日として惣介なくては、生きて行けない人間なのである。その大事な兄が、人足[illegible]て雄々しく[illegible]もし[illegible]れを考へて、氷[illegible]めたいものを、心にも[illegible]だにも覺えた。が、邏卒たちが驅け付けて來て、人足は四散した。ほッとした。

ところが、邏卒の一人は、兄に對つて、

「取調べることがある。出張所まで……」

といふのだ。

折角、あたゝかさを取戾した心は、こゝで再び、冷え切つてしまつた。

(取調べが長引いたなら?……)

それを思ふ。

今夜歸らなかつたら、どうなるだらう?いや、取調べがへんにこぢれて、當分歸れないといふやうなことがあつたら……。

女氣はいつまでも弱々しく、不幸に暮してくれば來るだけ、その想像はよくない。

茅江の魂は、原に立つた一本の木が、嵐に會つて折れさうに見えるほど、ふるへおののいた。

そこへ、警保頭の種島正臣といふ人が現はれて、卽座に兄を自由にしてくれた。思ひかけない喜びである。

嬉しい。どう感謝していゝのか茅江が、その至純な感謝の心持をいつぱいにたゝえて、種島正臣を見た時、ちようど種島の振返つた視線とぶつかつた。

何故ともなく、彼女の胸は墨をのまされたほど暗くなつた。いや、いひやうの[illegible]慄悚を、ふと感じたの[illegible]種島の[illegible]執念の色が光つてゐたやうである。

茅江は、あはてゝ目を伏せた。

すると、去りながら種島が、

「いや、實際それだけの腕を持つて、埋もれてゐることは惜しい」

と、惣介の顏へ戾した目は、もうさつきのやうに威嚴がふくまれてゐる。

「恐縮です」と、惣介は、仕方がないといふやうに笑つて見せて、

「さう仰せられては、言葉がありません。幕臣くづれのみじめな人間です」

「ほう。では、お旗本だつたか?──そちらの女性は貴公の御內儀か?」

[illegible]ち江を見た。

惣介は苦笑して、

「家內ではありません。妹です」

「ふむ、御主人はどちらへ」

ちよつと」惣介の答は詰まつたが、

「例の御瓦解當時、行衞不明になりまして、いまもつて所在が知れません」と、率直に答へた。

「それは、お氣の毒ぢや喃」

と、いふ種島の、さつきのあの蛇の目が、自分の體いつぱいにそゝがれてゐるやうに感じて。ち江は眞赤になつた。

「わしの住居は、神田鎌倉町だ。今日は非番だから、邸から遠乘りに出かけたのぢや──貴公、今夜にも[illegible]の家へ來てくれんか。すこし話がある。いや、遠慮は無用だ。實は、無屆けで乘合馬車のやうな營業け出來んことになつてゐるし……とにかく、來てくれ[illegible]つてゐる」

種島がさういふ時、

と、驅け付けて來たのは魚屋庄太郎である。

「あッしは今、乘合馬車屋と溜籠屋が喧嘩してゐると聞いたんだから、大急ぎで飛んで來たんですが…」

この闖入者に眉をひそめた種島正臣は、くれぐれも惣介に、住居を訪ねるやうにいつて、も一度ち江の美しい顏を盜み見てから、馬をはしらせて立ち去つた。

「誰です。ありア……?」

庄太郎は、づけ〳〵いつた。

「立派な御人體だが、どうも目付がよくねえなあ。あんなのは、油斷が出來ませんよ」

國民精神總動員……
日本國民・必見の書……
內閣情報部發行
寫眞週報
(1部10セン)
…お取次致して居ります…
(平2)　西村藥局　(電3)

外科、內臟外科
エツキス光線科
新設　產婦人科
入院隨意
院長　安齋徹
醫學士　黑澤廣
平市田町
安齋醫院
電話四七五番

日本石油株式會社特約店
フイゾンゲサン石油株式會社重油特約店
福島縣平市一丁目(電話六十一番)
株式會社　關彰商店平支店
本店　茨城縣下館町　電話五五、三三九番
支店　茨城縣土浦町田宿　電話六五三番
茨城縣久慈町　電話一三七番
茨城縣多賀郡(驛前)　(電　大津　一四七番)
縣本驛前　(電　平潟　五四番)
福島縣四倉驛前　電話四八番
福島縣小名濱町
油槽所(常磐線泉驛前)
海岸給油所(大津港、平潟港、江名濱)
ガソリン給油所(土浦町新國道日本石油給油所　電話八二番四)

磐城の御みやげ品
名產　靈峰羊かん(名產柿煉)
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹
同　七濱……のり羊羹
同　豐間……辨天羊羹
◎各種一本十錢
製造發賣元
小川郷驛前
平屋賣店

國はニッポン。魚は凍魚
日本水產特約
卸小賣
平製氷社會
(電二二八・三二六)
タ　ヒ　甘鯛
エ　ビ　マナ鰹
白　魚　帆立貝柱
冷カツノコ　ウニ貝燒
ヒノマル凍魚
平代理店　四丁目
卜印魚問屋
(電五一二八番)
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。

皮膚科
泌尿器科
性病科
專門
診療時間　午前八時ヨリ午後九時マデ
入院隨意
平市田町
江尻醫院
電話六九一
醫學博士　江尻伊三郎

レストラン
サロン
食事　喫茶　酒場
ねを　た　衆
電話五九二番に變りました
平市銀座街

藥品　養鷄　飼料各種
加奈陀系銀狐、純血エゾ狸
東北系多產種狸、フイッチ日本テン
大型種兎アンゴラ兎、雉子家禽各種
平產業養狸組合事務所
乾產業會社畜產部
國策アンゴラ兎採毛協會
福島縣磐城種畜場
內郷村境(平市外)
出張所　平驛前　電六四八番
分讓所　東京市淀橋區下落合
◇北里研究所製
◇ジステンバー豫防液
東亞製藥所製
綜合ビタミン劑
◇ヴイベリン末(動物わかもとの稱あり)
◇フイッシミール
鶏養魚粉
病理研究、診療
藥養劑の配劑
飼育指導の需に應ず
擔任　獸醫師　技師

難波醫院
內科
小兒科
入院應需
自炊の便あり
平市大町
電話五〇二番
(看護婦見習、至急募集)
醫學博士　難波睦

旅館
大幸館
東京上野驛前
(下谷郵便局橫通角)
電話下谷(83)六七七番
私は平市出身ですから特に鄕里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人　比佐棟雄

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
內務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山驛より約三十丁　安積中學より約五丁
郡山市外大槻村針生
電話九二五番
入院隨時
院長　醫學士　金森五郎

故障の起らぬ
AK
原口のラヂオ
擧つて國防…揃つてラヂオ
ラヂオは是非──
專門店……へ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目(警察署通り)
電話(呼出)166

お醬油は……ヤマフル
味噌醬油
たひら正宗
鰹節　食料品
醸造元
山崎合名會社
福島縣平市
電話(營業部一〇番)(本店二七番)
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

見頃は來日曜前後
昨忠魂祭の煙火を木のかしらに
するく揚つた春の幕

昨忠魂祭の煙火を木の頭に春の幕はするく〳〵とあいて駘蕩の微風に吹かるゝ櫻の枝頭は、新川端に公園に生々と快い戰慄を見せて居る。先達來の雨で、ふんだんに吸ひ込んだ水氣が燦々たる陽射しに微甘く醱酵し、蕾の膨らみ方も思ひ切つて早く、處女の羞恥に潮紅して來た色ざしから開花は愈よ玆一兩日中と觀られ、咲きも殘らず散りも初めぬ絶好の見頃は縣社祭典あけの來る十九日(日曜)前後と像想され、新田町の稽古所から洩るゝ三味太鼓を伴奏に爛々たる春のステップは刻一刻花へ！と近づきつゝある

非常時型お花見陣容
來十五日から 列車增結
臨時停車取り止め

非常時下のお花見については昨報の如く途に當局からキツイお達しが出た、それでなくてさへ一般が自肅一番してゐる折柄だけに今年の花の松ケ岡は先づ人出もそれ程ではあるまいといふ見透しの下に鐵道當局の花見客輸送陣もごく平凡、例年ならばプラットホームに造花の櫻を飾りつけたり列車增結は勿論のこと、公園附近に臨時停車させて大いに花見客の便宜をはかるわけだが今年は

それでもこの十五日から今月一杯、上下各列車に二輛乃至三輛を增結するだけで臨時列車は先づ見合せた

更にポスターや立看板等も範圍をせばめて常磐線は助川―原町間、磐越線は郡山迄各驛にこれを掲出、ほんの慰安客に呼びかける程度に止めた

尚は從來花時に便宜をはかつた公園脇への臨時停車は降客の線路横切り等これに伴ふ危險が少くないといふことになつて今後は特別の設備がない限り鐵道當局としてはこれを行はない方針に決つたと

旅藝人監視
市役所で詰所設置

これ亦お花見客世話役の市役所でも一兩日中には例によつてときわ亭脇に園內吏員詰所を設けて花の準備に本腰となる筈だが今年は特に取締當局とタイアップして旅藝人の出入りにつき嚴重監視の眼を怠らずいや〳〵も非常時にあるまじき風紀の監視等に備へるべく當直吏員連を督勵する方針である

諸橋會長 和牛購入

諸橋平市農會長は畜牛奬勵のため此程私財三百八十餘圓を投じて農會所有の改良和牛三頭を購入、近く平窪方面の農家に貸付け增産をはかる

望み薄を見越して 電話の申請少數
昨初日の受理七口

平局の本年度架設電話は既報の通り昨十日から申請の受付けを開始したが最初から軍需關係をして優先せしむると云ふ一般には差當り一寸歯が立たぬ條件付きなので、咽喉から手が出る程の電話飢饉に拘らず、到底望み無いものと諦めをつけた向が多いのと、從來の如く架設一年後の讓渡移轉が絶對に封じられてある關係から、利權目當での申請が全然その跡を絶つたので、彼此昨初日の申請に僅かに七口に過ぎず、今二日目も同數位で大体出揃ふではないかと見られて居る

花下に郵便局
今年も出張所開設

平局では毎春公園內に臨時出張所を設け爛漫の花下から花信を飛ばす雅客の便を圖つて來たが今年も明後十三日から十九日迄例年通り第二公園公衆電話附近に店して

一、普通と常郵便物引受
二、郵便切手類の賣捌
三、風景入りスタンプ押捺

の事務を午前十時から午後五時迄取扱ふと

陣中を聽く (371)
我が軍を信頼して 如何にも安心の表情
市內田町出身 比佐三郎君(通信)

何時も乍ら御無沙汰のみ致して居りまして申譯御座いません。私共お陰樣にて相變らず頑健で軍務に服してます故何卒御安心下さい。此度は御心つくしの品々誠に有難く御座いました。

皆んなで頂きました、どうぞ組合の皆々樣によろしく御傳へ下さい。我々部隊は只今○○の北方○○沿線の片田舍○○城外の支那軍兵營を利用して病院勤務に從事して居りますが、戰鬪が無いので戰傷患者も居らず駐屯軍の樣な氣分です。氣溫が昨今急に上昇して四月末とも思はれる樣な暖かさ、桒は花盛りで櫻花後の芽萊の候と云つたやうな氣候です。折々公用を帯びて漢口へ出張致しますが昨今の同市街は目覺ましい復興振りを見せ爆破されなかつた中山路、江漢路、民生路等と目拔きの商店街は空き家の無い程になり、これが殆ど邦人商店ですから其の物凄い進出振りに驚かされます。

交通機關は今の處人力車だけで車に乘るもの歩くもの支那人がウヨ〳〵と銀座以上の賑ひです、如何にも安心したと云ふ樣な態度が見受けられますのは我が軍の力によつて治安がかく回復された證據だと思はれます。

彼らの通貨は中央銀行、中國農民銀行或は交通銀行等の銀票が通用されてゐますが日本軍票との交換には八掛位で價値が下ります。これ等の兩替店は路傍の雜踏の中に机と算盤とで露天商人に混つて何軒も何軒も營業してゐます。

革作工の商人も澤山見受けられます、我れ等は皇軍の人々をお得意と、軍刀の外裝飾革等を作る路上の小工業です、兎に角支那の商人は何處へ行つても、どんな片田舍へ行つても見受けられ、どんな廢品でも立派な商品として取引きさるものは利に敏い支那の民族性を遺憾無く表してゐます先づは御返事旁々近況御知らせ申上げます。どうぞ有り難う御座いました、重ねて御禮申上げます。

三月十八日

武德殿新築
けふ平署で感謝祭

平署武德殿は三井榮一氏の寄附で工費一萬三千圓、この六月末迄に竣功(十二間に六間半)するので署では十一日午後二時から舊演武場で感謝祭を執行、最後の紅白試合を行つた

納税組合表彰
市の

十三年度優良納税組合表彰式は十七日午後一時から市會議事堂に擧行、被表彰は百四十五組合(組合員三千百三十)二名と管理者十餘名、同日新設組合に奬勵金を贈る

五十名二班に分れ 炭礦、片濱視察
市長會議の日程決る

東北六縣、北海道の市長さん連のオンパレード、豪華會議は愈よ十五、六兩日に迫つたので先づ宿舍の割當てを終へた市當局ではその準備に大童、第一日は午前九時から市公會堂に勢揃ひして各縣提出の促進議案を中心に審議の上午後一時で一と先づ打ち切り、二班に分れて磐炭、入山兩炭礦及び國寶白水阿彌陀堂を見學、翌二日目も午前九時から會議を緩行し正午迄に全國會議への提出議案等を決めてからこんどは片濱へ――沼の內辨財天、豊間燈台から中の作、江名港を見て小名濱に向ひ築港、日曹工場から更にハイヤーを錦村昭和人絹工場、勿來の關址へ飛ばし、解散する豫定であるに縣からの君島知事以下首腦者を加へ出席總數五十餘名に上る筈

苦心の集約四百餘枚
尨大な一味十名惡の記錄
愈よ大詰送檢

主犯が土地つ子な處から極度に地方人の獵奇を唆つた豊間村生れ鈴木昌雄(四三)以下酒谷(四三)菅野(四三)志茂(四三)原野(四二)清水(四三)白水(四二)靑木(四三)市島(六二)鈴木ふみ(三六)一味十名の詐欺、私文書僞造行使、恐喝事件は昨報の如く平署の取り調べ一段落と共にうち七名の身柄(靑木、市島、ふみは書類のみ)は明十二日平檢事局に送られ、富澤檢事の取り調べを受け何れも直に起訴平刑務支所に收容されるらしい、去る昭和十一年十月からの惡の營み前後五十五件、その被害額實に五千餘圓の巨額に上つて居り去月二十一日檢擧に手を染めて以來當局の努力の集約とも云ふべき關係書類は實に四百餘枚と云ふ浩瀚なもので、その內容の複雜多岐なる漫ろに當局苦心の跡を窺ふに餘りあると

人妻投身自殺

鹿島村某人妻(三三)は數日前の夜附近の沼で投身自殺を遂げた

附近民の話しによるとなんでも同夜懇意にしてゐた男と自宅で話し合つてゐるところへ夫が歸宅、その男とのもつれ合ひを苦にしての結果と云はれてゐる。

墜落即死

澤渡村下市萱日雇大和田重之助(五四)は十日午後三時頃同村地內でトラックから墜落、即死

平署小異動

警防課新設、情報課廢止に伴ふ縣下警察官異動は十日發令されたが平署關係左の如し

新　舊
富岡　平　部長菊地縣芳
小野新町　同　同　宗像正雄
平　三春　同　熊谷四郎
平　同　佐々木太殿

富岡署に轉じた菊地部長は去る昭和九年坂下署から來任、監督部長として着任五年、十四日赴任する

人的資源開發の 平職業紹介所を祝福
けふ廳舍竣功式

平職業紹介所の廳舍落成式は既報の如く今十一日午前十時より奉告祭、落成式並に表彰式の順序を以て行はれたが知事(代理渡邊職業課長)の告辭、青沼市長(伊藤助役代理)野崎縣會議員代表、伊藤町村長會長事業主代表澤崎磐炭副所長の各祝辭ともに紹介所が人的資源開發上現代に即應する最重要の社會施設であり、銃後の强化擴充上極めて緊切の立場にあると同時に勞務の完全な需給を計る必要とする常磐炭礦地帶として之れが誕生を祝福し大いに將來を期待して措かぬと夫々今後の機能發揮を望んで之を祝福し式後簡素な祝宴を張つた

神詣で小團体計畫
平驛シーズンを迎へて

漸く近づいた旅行シーズンを前にし、平驛では目下例の神社詣團体を計畫してゐる

時局柄大掛りな募集も出來ないので先づ百名乃至百五十名止りで行く先き未定の爲未だ發表出來ないで居るが二、三日の豫鹽釜神社方面行きが計劃定でに上されてゐるとか

右について鐵道當局の話―時局柄物見遊山の募集はしかねるが武運祈願とか眞面目な小團体は事情の許すかぎり計畫する方針だ、銃後の體力を養ふ意味合ひからハイキングの團体等もいゝことだらう汽車の方は團体割引(普通)等もあるのでそれに期待されてゐる

お披露目
湖月の豆

蝶と云へば人によつてはゾク〳〵する程懷かしい名であるが昨日その何代目かが出た。今後問題はどう磨開するか、美貌多藝だけに大に期待されてゐる

劍道は平軍二年連覇
昨忠魂祭武道成績

昨忠魂祭當日行はれた武德會平分會主催第二十五回武道大會は出場三百五十名によつて熱戰展開、その成績は左の如く團体試合中劍道は平署が二年連覇を遂げ、弓道では四名の小名濱を破つて好間軍が勝つた(以下入賞順)

△劍道

團體＝平、澤渡、好間、湯本、三坂、永戸、高久、玉川、內郷

個人有段＝志賀豫一(平)堀尾孝介(同)村田守(平商)濱岡一郎(入山)草野將行(內郷)五十嵐辨(平商)柴崎重信(永戸)

個人段外＝荻野傳重(永戸)大谷麗雄(三坂)草野正明(澤渡)佐藤一(平商)藤井德一(同)大森又平(小川)田中彥雄(平商)鈴木忠銈(內郷)

△弓道

團体＝好間、磐崎、小名濱、湯本、玉川、平、內郷

個人＝深田倉吉(小名濱)鈴木要(同)佐藤倉之助(四倉)佐藤勝信(平)本間留五郎(好間)濱邊卯兵衛(湯本)

△銃劍術

個人＝菅島平八郎(內郷)猪狩良雄(內郷)飛知和敏雄(湯本)

△柔道

有段＝武藤正(平)渡邊與四郎(好間)

段外＝酒井精二(內郷)佐川尙平(平)金賀津二郎(神谷)鈴木安吉(平商)阿部浩(神谷)

△小學生劍道

高等科＝菊地武男、丸山一郎、長谷川忠、大竹清

尋常科＝山名降敏、根本正久、石山逸雄、鈴木正男、久野進平、磯上久一

平市慶弔錄

△出生　禰宜町吉野運之助氏二男尭君、中町佐藤堅一郎氏二男篤司君、才槌小路渡邊秋平氏長女紀子ちやん

△死亡　禰宜町馬場政子さん(二六)

十二日
(小名濱測候所發表)

滿潮　六、三五　前一、三〇
干潮　前〇、五〇　後二、三〇

舊二月二十三日　水曜　新四月十二日
己卯　赤口　閉　壁宿

▲一白　何れに向くも愛より先なるはなし怒は禁物▲二黑　食に滿たざる榮も時日を經れば趣味を生ず▲三碧　勤め次第にて目上の引立てに逢ふべき吉日▲四綠　盛の日なれど心を遜せず細事に注意せよ▲五黃　愛き目を忍ぬるとも夫にたゆまず辛抱すべし▲六白　一時の悲あいは後日の歡喜となる氣を緩めよ▲七赤　次から次と幸運に惠まる▲日開店名弘尤も吉▲八白　自重して守るを忠一とし新事を企べがらず▲九紫　小利にくらむときはまつづきて後指を指さるべし

玉屋眼鏡店

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下　電六七四

磐城無盡
簡易ノ金融
趣味ノ貯蓄
縣內各町出張所

稻荷丸　皇漢ホルモン藥
メ キ キ
◎腹痛……には三粒デキキマス
◎胃痙攣……ムナサ・痛みには奇妙ニキ、マス
◎小兒の諸病……一日三回のませて見れば靈妙な作用で健康体となる
◎心臟病……少しの運動にもイキ切れドウキの高い方御買求下さい
◎自動車醉……ニハ乘車前十分位三粒服用セバヨイマセン
◎肺炎……一粒腹中に入れば心臟を强め精力活力を增加す
定價
四十五粒―五十錢
百粒―壹圓
二百七拾粒―貳圓五十錢
五百五拾粒―五圓
茨城縣笠間町(稻荷神社前)
本舗　イナリ丸　金子製藥所
――代理店――
平市古鍛冶町一〇(縣社下)
(有名藥局にあり)
阿康藥局
電話四十四番
振替東京三〇〇六五番

移轉廣告
今般左記へ新築移轉致候間御通知申上候
昭和十四年四月
平市南町十四番地(警察署通り角)
(舊診療所　平市六丁目)
木村外科醫院
木村淳
電話三〇九話
外科一般
內臟外科
性病科
肛門病科
◎入院應需

病室・手術室完備
産科婦人科
醫學博士　五十嵐雄二
(入院隨時)
(物理療法科併置)
平市新川町(電話三六九番)